

第57回新春読書感想文コンクール 募集要項

1. 趣 旨

- ア. 子どもから大人まで県民が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験することにより、読書の習慣化を図る。
イ. より深く読書し、読書の感動を文章に表現することを通して、豊かな人間性や考える力を育む。さらに自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

2. 主 催

佐賀県立図書館・佐賀県学校図書館教育研究会・佐賀県青少年育成県民会議・佐賀県地域婦人連絡協議会・佐賀県PTA連合会・佐賀新聞社

3. 後 援

佐賀県教育委員会・佐賀県読書推進運動協議会・佐賀県書店商業組合・佐賀県教科書株式会社・NHK佐賀放送局・サガテレビ・NBCラジオ・エフエム佐賀

4. 募集規定

(1) 資格

- ア. 佐賀県内の学校に通う小・中・高校生
佐賀県内在住または通勤・通学の一般の方
イ. 作品は未発表作品に限る

(2) 内容

読んだ本についての感想・批評など

(3) 対象図書

- ア. 自由図書 教科書・雑誌を除く図書
イ. 課題図書 主催者が指定する図書(小・中学生のみ)、11月から販売開始予定

(4) 原稿枚数(字数)の規定について

- ア. 児童生徒の部はB4原稿用紙を使用し、小学校低学年の部(1・2年生)は800字以内。小学校中学年の部(3・4年生)、小学校高学年の部(5・6年生)は1200字以内。中学生の部、高校生の部は2000字以内とする。
イ. 一般の部は400字詰め原稿用紙を使用し、2000字以内とする。ワープロで原稿を作成する時は、20字×20行に書式を設定すること。
ウ. 句点読点は一字に数え、改行のための空白も字数として数える。
エ. 1行目題名、2行目氏名、3行目から本文とするが、題名、氏名は字数として数えない。

(5) 応募点数

作品の応募は一人につき一点までとする

(6) 応募方法

- ア. 作品には必要事項を記入した「応募票」を作品の右肩に貼付し、作品は右肩でとじる。
イ. メールで送る場合は、応募票の記載事項を本文冒頭に明記する。(一般の部のみ)

(7) 応募締切日

- 【児童生徒の部】令和4年1月上旬(各学校が定めた日)
【一般の部】令和4年1月6日(木)当日消印有効

(8) 送り先

- 【児童生徒の部】自分の所属学校へ
【一般の部】佐賀県立図書館 司書ネットワーク課へ
〒840-0041 佐賀市城内二丁目1番41号
E-mail saga-kentosyo@pref.saga.lg.jp
※メールの場合は、受付済みの返信メールを送ります。
※持参の場合は、佐賀県内の市町立図書館、公民館図書室でも受付可

(9) 問い合わせ先

- 【児童生徒の部】自分の所属学校へ
または、吉野ヶ里町立三田川中学校(担当 大場)へ
〒842-0031 佐賀県神埼郡吉野ヶ里町吉田303
電話 0952-52-2195 FAX 0952-53-2255
【一般の部】佐賀県立図書館 司書ネットワーク課へ
〒840-0041 佐賀市城内二丁目1番41号
電話 0952-24-2900 FAX 0952-25-7049

5. 審 査

- (1) 児童生徒の部は地区審査の後県審査を行い、小・中学校は自由と課題に分け審査する。
(2) 一般の部は県審査のみ行う。
(3) 県審査は主催者が委嘱した審査委員会で行う。

6. 表 彰

- (1) 優秀作品には、県知事賞・県教育長賞・県立図書館長賞・県青少年育成県民会議会長賞・県地域婦人連絡協議会長賞・県PTA連合会長賞・佐賀新聞社賞の特別賞のほか、優秀・優良・佳作の各賞を贈る。
(2) 児童生徒の部は、地区別・校種別に努力校を選び学校賞を贈る。
(3) 入賞発表 令和4年1月下旬頃 佐賀新聞紙上
(4) 表彰式 令和4年2月24日(木) 午後3時30分 佐賀新聞社
※新型コロナウイルスの感染状況によっては、表彰式を開催しない場合があります。

7. 作品の掲載

- (1) 県知事賞の作品は佐賀新聞、また、特別賞の作品は作品集に掲載する。
(2) 応募作品の著作権は主催者に帰属する。なお、佐賀新聞、作品集に掲載する際に、簡易な文字の修正を行うことがある。



キ リ ト リ

第57回新春読書感想文コンクール 応募票

		課題	自由
題 名			
ふ り が な			
氏 名	(歳) ※一般のみ記入		
読んだ本	著者・訳者 原作者		
	書 名		
	出版社		
児童・生徒の部	学校名	(第 学年)	
	学校所在地	〒 ☎	
一般の部	住 所	〒 ☎	
	※1 勤務先 住所	〒 ☎	

この応募票に記載された個人情報、この業務以外には使用しません。
※1 勤務先住所は住所地が県外にある方のみご記入ください。